

MR検査依頼票

検査日 年 月 日 AM/PM 時 分

内	外	整	耳	眼	泌	至急	医師名
ドック	3F	4F	依頼病院名				

住所：診療録に同じ

◎撮影部位

- 頭部MRI 頸部MRA 大腿MRA
- 頭部MRA
- 副鼻腔 頸部 甲状腺
- 胸部 上腹部 (肝・胆・膵) 腎・副腎
- 骨盤 子宮・卵管 MRCP
- 頸椎 胸椎 腰椎
- 肩関節 肘関節 手関節
- 膝関節 足関節 股関節
- 下肢 上肢

検査後 会計 検査後 診察

検査禁忌

- ペースメーカー
- 人工内耳

医師の判断により検査可

- 脳動脈瘤クリップ
- 各種ステント
- 人工関節等・体内金属
- 閉所恐怖症 有・無
- 妊娠の可能性 有・無 (妊娠 月)

造影 **有** 読影 **不要**

使用造影剤

- オムニスキャン 20ml 本
- オムニスキャン 5ml 本
-

依頼理由・臨床経過等

上記部位以外や詳細な指示があればお書きください。
(絵を入れていただくと助かります)

使用フィルム 検査技師名

半切	
	枚

MRI検査用造影剤使用の説明と同意書

特定医療法人社団育成社 佐々木病院 佐々木 啓吾

1 MRI用造影剤について

MRI 検査では、ガドリニウム造影剤が使用されます。造影剤なしでも検査はできますが、造影剤を血管内に注射することにより、病変の存在や性状などの診断や治療に有用な情報を得ることができます。腎機能が正常であれば、注射後 6 時間で 80%以上が尿として体外に排泄され、やがて全てが排泄されます。

2 MRI用造影剤の副作用の種類や発生頻度

軽微な副作用を含めると約 1%の方で何らかの副作用が発現します。残念ながら、こうした副作用の発生を事前に知ることはできません。また、以前の検査で副作用が出なくても、今回の検査で副作用が出ることもあります。

〈軽症〉約 1%の割合で吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、発疹などの軽度な副作用が現れることがあります、基本的に治療を要しません。

〈重症〉0.05%の割合で、呼吸困難、意識障害、血圧低下等の重篤な副作用が現れることがあり、稀に死に至るケース（0.001%の割合）があります。

なお、勢いよく造影剤を注入する場合には、血管外に造影剤がもれることがあります。この場合には、注射部位がはれて、痛みが伴うこともあります。基本的には時間がたてば吸収されますので心配いりません。もれた量が非常に多い場合には、別の処置が必要になることもあります。非常にまれです。

3 検査の必要性

造影剤にはこのような副作用がありますが、造影剤を使用しないと病変を検出できない場合があります。あなたの病気を診断し治療するうえで、造影剤を使用した検査が非常に重要です。

4 検査について

注射に同意されれば、下の同意書に署名のうえ検査当日にお持ちください。患者さんが未成年や意識障害のある場合は家族や代理の方の署名でも結構です。もし造影剤の注射に気が進まなければ、得られる情報は減りますが造影剤を使用せずに検査を行いますので、医師におっしゃって下さい。

5 同意書の有効期限

お手数ですが、毎回ご署名をお願いします。まとめて予約した検査は 1 枚で結構です。

MRI検査用造影剤使用の同意書

私は、今回検査における造影剤の必要性と副作用の可能性について説明を受け、理解しました。私は、造影剤の投与を受けることに同意します。万一、副作用が現れた際には必要な処置を受けることを承諾します。

平成 年 月 日

本人のご署名.....

親族（代諾者又はこれに準ずる者）.....（続柄.....）

紹介元医療機関名.....

紹介元医師名.....

【紹介医療機関用】